

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成20年9月19日
第738号

〒952-1209 佐渡市千種155
：0259(63)4156(直) 4115(代) FAX：4117
<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/> E-mail：kanai es@sado.ed.jp



夏の終わり、24時間テレビでとても素敵なお母さんの言葉を聞きました。聴覚障害のあるお子さんに接するとき「あせらず、くらべず、あきらめず」をモットーにしているそうです。私たちも、この言葉を胸に、子どもたちとのかかわりを深めていきたいと思いません。2学期もよろしくお祈りします。

障害のある子どものコミュニケーションについて

～新潟県教育職員免許法認定講習より～

新潟大学で有川宏幸先生の講義を受け、現在における「障害」のとらえ方、障害のある子どものコミュニケーション上の問題、行動の意味のとらえ方と問題行動への対応等について学ばせていただきました。

言葉やジェスチャーを使わなくても成立するコミュニケーションがあります。乳幼児と大人の場合を考えるとイメージしやすいかもしれませんが、「伝えたい」「理解したい」という思いの下、相手の行動や様子に対してアンテナを張ることで意思は通じ合わせることができます。コミュニケーションの成立です。

一方、伝える・理解する等に困難を生じやすい子どもたちにとっては、問題行動がコミュニケーションの意味をもちます。例えば、かまってほしくて問題行動を起こす子にその都度注意すれば、その子はまた同じような行動を起こすでしょう。注意という形でかまってもらえるからです。気持ちを伝えることがうまくできない彼らにとって、問題行動は何らかの気持ちを伝えるために行われているのです。「問題行動は『なくす』のではなく『適切なものに変える』と考えるべき」とのことでしたが、大変納得いたしました。(中村)

発達協会実践セミナー

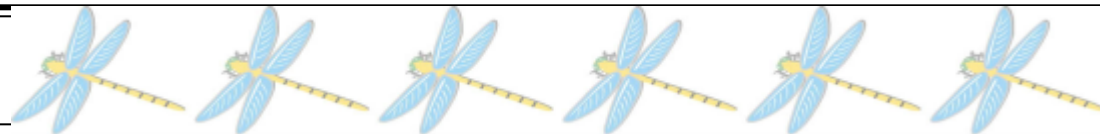
「言葉や文字の指導の実際」参加報告

～山口発達臨床支援センター 川間 弘子先生～

この研修では、子どもの指導において最も大切な2つのことを学びました。

- 1 子どもの目線を見ること
文字学習を行うと、つい大人は子どもの書く字にばかり気を取られがちです。子どもの手をとって書いている時に、子どもの目線がどうなっているかをきちんと見取ることが指導者として大切なことです。子どもの目線が文字や学習の対象に集中しているかを確認し、そうでない場合には適切な方法で集中させることが必要です。
- 2 子どもができるようにすること
教材の提示にも細かな配慮が必要です。文字カードで言葉を作る課題では、どの字を先に提示するか？左右どちらに提示するか？を考えなければなりません。指導はテストではないので、必ずできるような状況設定にする必要があります。こんな基本的なことを今まであまり考えずに、子どもに「できなかつた」という思いをさせてしまったことを反省しました。必ずできる状況であれば、子どもは進んで課題に取り組むはずで。(香遠)

親の会コーナー



7月12日(土)に、川崎市自閉症児者親の会 会長 明石洋子氏を講師にお招きし、第1回親の会学習会を行いました。自立に向けた子育てについて大変有意義なお話をお聞きすることができました。参加くださった皆様、大変ありがとうございました。感想の一部を紹介します。

目からうろこ！35年間我が子と共に歩んだ体験から生まれた言葉に強い響きを感じました。本当に徹之さんを愛し、知り尽くした上での教育の賜だと思えます。私もこれから子どもたちに寄り添い、サポートしていけたらいいなと思いました。

明石さんの講演会をととても楽しみにしていました。「あいさつができる」ということは、当たり前のようなことですが、できそうでできません。「まずはあいさつから」という気持ちで子育てをしたと思います。

初めて学習会に参加させていただきました。あっという間に時間が過ぎ、明石さんのすごい生命力を感じました。これから先やるべき事が見えてきた気持ちです。ありがとうございました。

「障害をよく理解して、常にプラス思考でということの大切さがよく分かりました。本人のできることに目を向けて伸ばしていけるように、私は社会とのパイプ役になって応援していきたいです。

お知らせ



親子体験活動について

今年度もことば・こころの教室親の会行事として、親子体験活動を計画しました。多数の参加をお待ちしています。

日時 平成20年9月21日(日)
9:45~12:00

会場 佐渡太鼓体験交流館~たたこ館~

内容 太鼓教室参加

親の会会員の皆様へは、すでに案内を送付してあります。

夏季相談会・夏季言語検査の報告

夏季相談会の新規相談件数は12件ありました。また、夏季言語検査は11保育園から申込みがあり、計102名の検査を行いました。

子育てワンポイントアドバイス その4

~上手に活用しよう！特別支援教育に活かせる検査~
子どもたちに適切な支援をするためには、科学的な検査は不可欠です。お子さんの得意な面と不得意な面が分かります。幾つか紹介します。

WISC- 知能検査・・・包括的な一般知能を測定します。最も基本的な検査です。

K-ABC 心理・教育アセスメント・・・知的活動の水準を測定します。

S-M 社会生活能力検査・・・社会生活能力を的確に捉える検査です。

判定委員会について

平成20年度第1回判定委員を下記日程で行います。判定委員の皆様、よろしくお願ひします。

日時 平成20年9月29日(月) 16:00~

会場 金井小学校校長室